

ポイントランキング計算基準

《ポイント表》

グレード	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R
1位	8192	6144	4608	2048	1536	1152	768	704	640	576	512	384	192	96	48	36	24	12
2位	6144	4608	3456	1536	1152	864	576	528	480	432	384	288	144	64	36	27	18	9
3位～4位	4096	3072	2304	1024	768	576	384	352	320	288	256	192	96	48	24	18	12	6
5位～8位	2048	1536	1152	512	384	288	192	176	160	144	128	96	48	24	12	9	6	3
9位～16位	1024	768	576	256	192	144	96	88	80	72	64	48	24	12	6	4.5	3	1.5
17位～32位	512	384	288	128	96	72	48	44	40	36	32	24	12	6	3	2.25	1.5	
33位～64位	256	192	144	64	48	36	24	22	20	18	16	12	6	3				
65位～128位	128	96	72	32	24	18	12	11	10	9	8	6						

《基準大会》

以下の大会を基準大会として、上記ポイント表に基づいて該当する選手にポイントを与える。

大会名	グレード	備考
全国高校総体	A	初戦敗退者(組)にもポイントを与える。
近畿高校	D	初戦敗退者(組)にもポイントを与える。
大阪高校春季	K	DA及び予選を勝ち上がった者(組)を対象とする。 本戦出場者がシングルス128、ダブルス64を超えてシードにバックができた場合でも、その敗者はシングルス128位、ダブルス64位とする。また、バックの勝者が次に敗退した場合は、シングルス12点、ダブルス24点を与える。 本戦を欠場した者(組)にも、初戦敗退のポイントを与える。
大阪高校総体	K	DA及び予選を勝ち上がった者(組)を対象とする。 本戦出場者がシングルス128、ダブルス64を超えてシードにバックができた場合でも、その敗者はシングルス128位、ダブルス64位とする。また、バックの勝者が次に敗退した場合は、シングルス12点、ダブルス24点を与える。 本戦を欠場した者(組)にも、初戦敗退のポイントを与える。
全日本ジュニアU18	B	初戦敗退者(組)にはポイントを与えない。
全日本ジュニアU16	G	初戦敗退者(組)にはポイントを与えない。
全日本ジュニアU14	N	初戦敗退者(組)にはポイントを与えない。
関西ジュニアU18	E	初戦敗退者(組)にはポイントを与えない。
関西ジュニアU16	M	初戦敗退者(組)にはポイントを与えない。
関西ジュニアU14	Q	初戦敗退者(組)にはポイントを与えない。
大阪ジュニアU18	L	シングルス64位、ダブルス32位以上を対象とする。 ただし、予選と本戦があり本戦ドロースイズがシングルス64、ダブルス32以下であれば、DA及び予選を勝ち上がった者(組)を対象とする。
大阪ジュニアU16	O	シングルス32位、ダブルス16位以上を対象とする。 ただし、予選と本戦があり本戦ドロースイズがシングルス32、ダブルス16以下であれば、DA及び予選を勝ち上がった者(組)を対象とする。
池村杯U17	L	シングルス64位、ダブルス32位以上を対象とする。 ただし、予選と本戦があり本戦ドロースイズがシングルス64、ダブルス32以下であれば、DA及び予選を勝ち上がった者(組)を対象とする。
池村杯U15	O	シングルス32位、ダブルス16位以上を対象とする。 ただし、予選と本戦があり本戦ドロースイズがシングルス32、ダブルス16以下であれば、DA及び予選を勝ち上がった者(組)を対象とする。
田村杯U17	L	シングルス64位、ダブルス32位以上を対象とする。 ただし、予選と本戦があり本戦ドロースイズがシングルス64、ダブルス32以下であれば、DA及び予選を勝ち上がった者(組)を対象とする。
田村杯U15	O	シングルス32位、ダブルス16位以上を対象とする。 ただし、予選と本戦があり本戦ドロースイズがシングルス32、ダブルス16以下であれば、DA及び予選を勝ち上がった者(組)を対象とする。
全国中学	シグ [♂] J ダブ [♂] M	初戦敗退者(組)にはポイントを与えない。 ポイント有効期限は翌年の大阪高校総体終了時点までとする。
近畿中学	シグ [♂] O ダブ [♂] Q	シングルス32位以上、ダブルス16位以上を対象とし、初戦敗退者(組)にもポイントを与える。ポイントの有効期間は翌年の大阪高校総体終了時点までとする。
中牟田杯	H	シングルスのみ。初戦敗退者にもポイントを与える。 高校1年生で出場した者は対象としない。 ポイントの有効期間は翌年の大阪高校総体終了時点までとする。
MUFGジュニア	I	シングルスのみ。初戦敗退者にもポイントを与える。 高校2年生で出場した者は対象としない(4月開催時点)。 ポイントの有効期間は当年の大阪高校総体終了時点までとする。

- ※1 1回戦 BYE、2回戦敗退の場合は1回戦のポイントを与える。
- ※2 W0、RET、DEF での勝ち上がりはそのポイントを与える。
- ※3 ワイルドカードで出場の場合、初戦敗退にはポイントを与えない。
- ※4 高体連、協会の推薦による海外派遣等により出場できなかった大会については、常任委員会の審議によりポイントを検討する。その際、その大会が終了するまでに別紙ポイント申請書の提出を必要とする。提出がなければポイントは考慮されない。原則的には、出場していたらついでであろうシード順位に相当するポイントを与えるものとする。
- ※5 その他不測の事態については常任委員会の審議により対処する。
- ※6 テニス協会の大会においては、ダブルスペアが同校の組の場合にポイントを与える。
- ※7 テニス協会の大会においては、所属が大阪高体連テニス部加盟の学校の選手についてポイントを与える。

《他地方の大会・他地域の大会のポイント読み替え》

①関西ジュニアに相当する地域大会に出場した選手のポイント

出場した地域大会の成績を関西ジュニアに読み替え、関西ジュニアの順位から1ランク下げたポイントを与える。その際、出場した地域大会が関西ジュニアに相当する(全日本ジュニアの予選会である)ことと、その成績を証明できる資料の提出を必要とする。資料の提出がない場合、また資料に不備がある場合はポイントの読み替えが行われないことがある。ただし、地域テニス協会のホームページで大会結果の確認ができる場合は資料の提出の必要はなく、大会名と戦績を記載したものを提出すればよい。14歳以下については地域大会の成績がシングルス16位ダブルス8位以上を読み替えの対象とする。ただし、シングルス16位以上ダブルス8位以上であっても、初戦敗退ならポイントを与えない。

②大阪ジュニア以外の、関西ジュニア予選会に出場した選手のポイント

以下の地方大会の成績を大阪ジュニアに読み替え、大阪ジュニアの順位から1ランク下げたポイントを与える。その際、その成績を証明できる資料の提出を必要とする。資料の提出がない場合、また資料に不備がある場合はポイントの読み替えが行われないことがある。18歳以下シングルス32位ダブルス16位、16歳以下シングルス16位ダブルス8位以上を読み替えの対象とするが、初戦敗退ならポイントは与えない。14歳以下は対象とならない。

兵庫県 兵庫県春季ジュニア 奈良県 奈良県ジュニア 京都府 京都ジュニア
滋賀県 滋賀県ジュニア 和歌山県 和歌山ジュニアスプリングステージ

③上記②以外の、関西ジュニアに相当する地域大会の予選会に出場した選手のポイント

出場した地方大会の成績を大阪ジュニアに読み替え、大阪ジュニアの順位から1ランク下げたポイントを与える。その際、出場した地方大会が大阪ジュニアに相当する(関西ジュニアに相当する地域大会の予選会である)ことと、その成績を証明できる資料の提出を必要とする。資料の提出がない場合、また資料に不備がある場合はポイントの読み替えが行われないことがある。18歳以下シングルス32位ダブルス16位、16歳以下シングルス16位ダブルス8位以上を読み替えの対象とするが、初戦敗退ならポイントは与えない。14歳以下は対象とならない。

④近畿中学生テニス選手権大会を経ずに、全国中学に出場した選手のポイント

シングルス 近畿中学生テニス選手権大会16位のポイント(6点)を与える。

ダブルス 近畿中学生テニス選手権大会8位のポイント(6点)を与える。

- ※1 基準大会の成績は、そのままポイント化される。
- ※2 上記①～④以外のポイントの読み替えは行わない。
- ※3 上記①～④の読み替えは、他地方、他地域から大阪府の高等学校へ入学してきた選手に対する措置である。よって、高校に入学した年の全日本ジュニア以後に、他地方、他地域の大会に出場しても読み替えの対象とならない。
- ※4 テニス協会のジュニア大会へは年間を通して同一年齢で出場しなければならない(大阪府では池村杯サマージュニアから翌年の全日本ジュニアまで)。よって他地方、他地域から移籍してきた選手が年齢を変えて大会に出場した場合は、それまでのポイントを無効とし読み替えは行わない。